

# 近代の仏教思想と日本主義

石井公成監修 近藤俊太郎、名和達宣編

2020年9月刊行



仏教者や知識人たちは、「日本主義」へ傾倒していく時代と向き合い、いかに仏教を再編したのか。その思想的格闘の軌跡を追う。

## 【目次】

仏教思想と日本主義への入射角——序にかえて (近藤俊太郎)

(石井公成)

## 第一部 親鸞・聖徳太子

真宗大谷派の教学と日本主義——曾我量深を基点として

(名和達宣)

真宗本願寺派の教学と日本主義——梅原真隆を通して

(内手弘太)

聖徳太子と日本主義——金子大築を中心に

(東 真行)

『原理日本』と聖徳太子——井上右近・黒上正一郎・蓑田胸喜を中心に

(中島岳志)

民族主義の体系と形式——三井甲之とその門弟

(藤井祐介)

## 第二部 日蓮・禅

日蓮主義と日本主義——田中惣学における「日本による世界統一」というビジョンをめぐる(ユリア・ブレニナ)

(クリントン・ゴダール)

日蓮主義と日本主義との衝突——日中戦争期における東亜連盟運動

(ステファン・グレイス)

鈴木大拙『日本の靈性』再考——仏教を超える新「日本宗教」

(天竹 晋)

臨済宗と「日本精神」——関精拙、古川堯道を中心に

(飯島孝良)

禅・華嚴と日本主義——市川白弦と紀平正美の比較分析を通じて

(齋藤公太)

## 第三部 教養・修養・転向

本居宣長と日本主義——暁鳥敏による思想解釈を通して

(碧海寿広)

日本回帰の思想構造——亀井勝一郎の場合

(齋藤公太)

▼A5判・上製カバー572頁・本体六、五〇〇円十税

吉川英治と日本主義——修養する武蔵と親鸞 (大澤絢子)

日本主義の主体性と抗争——原理日本社・京都学派・日本神話派 (栗田英彦)

親鸞とマルクス主義——佐野学の思想経験を中心に (近藤俊太郎)

まとめと展望——あとがき——課題としてのX (近藤俊太郎・名和達宣)

執筆者紹介 (名和達宣)

### ◆著者略歴

石井公成(いしいこうせい)

一九五〇年生まれ。専攻は仏教とその周辺文化。駒澤大学教授。主な著書に『東アジア仏教史』(岩波新書、二〇一九年)がある。

近藤俊太郎(こんどうしゅんたろう)

一九八〇年生まれ。専攻は仏教史学。本願寺史料研究所研究員、龍谷大学非常勤講師。主な著書に『天皇制国家と「精神主義」——清沢満之とその門下』(法藏館、二〇一三年)がある。

名和達宣(なわたつりのり)

一九八〇年生まれ。専攻は日本近代思想史・真宗学。真宗大谷派教学研究所所員。主な論文に「親鸞教学と京都学派の交流する場所——曾我量深を基点として」(『宗教哲学研究』第三七号、二〇二〇年)がある。

注文書	
(書店印)	様冊
ご担当	法藏館
石井公成監修、近藤俊太郎、名和達宣編	
近代の仏教思想と日本主義	
ISBN:978-4-8318-5560-2 C3015	本体六、五〇〇円十税
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

思想史・仏教